



平成25年5月31日

各 位

住 所	東京都港区芝五丁目 29 番 11 号
会 社 名	NECキャピタルソリューション株式会社
代 表 者 の 名	代表取締役社長 安中 正弘
役 職 氏 名	(コード番号: 8793 東証第一部)
問 合 せ 先	コミュニケーション部長 児玉 誠一郎
電 話 番 号	03 - 5476 - 5625 (代 表)

当社子会社の東南アジア向けグロースエクイティファンドへの出資及び運営参加のお知らせ

このたび、当社子会社である株式会社リサ・パートナーズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:田中敏明、以下「リサ・パートナーズ」)は、株式会社日本政策投資銀行(以下「DBJ」)が出資及び運営を行う東南アジア向けグロースエクイティファンドのJapan South East Asia Growth Fund L.P.(以下「本ファンド」)に出資及び運営参加することとなりましたので下記の通りお知らせいたします。本ファンドの業務執行についてはDBJ及びリサ・パートナーズによる共同出資会社であるSouth East Asia Growth Capital L.L.C.が行います。

記

<本ファンドの概要>

- | | |
|-------------|--|
| ・ 名称 | Japan South East Asia Growth Fund L.P. |
| ・ ファンド業務執行者 | South East Asia Growth Capital L.L.C. |
| ・ 出資者 | DBJ、リサ・パートナーズ(本リリース時点) |
| ・ ファンド総額 | 30 億円(本リリース時点) |
| ・ 主な投資対象 | 東南アジア各国の成長企業 |

本ファンドは、経済成長が著しい東南アジア各国(ベトナム、インドネシア、タイ、マレーシア、シンガポール等)の企業を投資対象とし、当該企業と日本企業とのマッチングを図ること等により、当該企業の企業価値向上を達成することを基本戦略としております。

各種統計によれば、東南アジア地域は、今後も人口増加が続くと想定され、それに伴う GDP の成長、マクロ経済の中長期的な拡大が見込まれております。特に、若年人口が多いベトナムやインドネシアでは、今後の内需拡大余地も大きいものと期待されると共に、中国への一点集中を回避するリスク分散の観点からも、製造業を中心に当地域への進出意欲が世界的に継続拡大している状況にあります。

その結果、内需を中心に市場拡大の成長を享受しているサービス業や小売業、建設業、グローバル企業との取引拡大により技術力の向上著しい製造業等、多様な中堅・中小企業に対するグロースエクイティ投資の機会も数多く出現している状況となっております。

リサ・パートナーズは、2012年にシンガポールに現地法人「RISA PARTNERS ASIA PTE. LTD.」を設立し、これまで日本国内において培ってきた企業投融資、債権投資、資産投融資及びそれらに関連するアドバイザー業務の海外展開を図ってまいりました。また、リサ・パートナーズがこれまで築き上げてきた地域金融機関とのネットワークにおいても、海外における金融サービス等の必要性が高まっており、海外業務の拡大が不可欠であると考えております。

本ファンドを通して、DBJ が有する多様な金融サービス機能や優良日本企業との広範なネットワークとリサ・パートナーズがこれまでに蓄積してきた経験・ノウハウの協業により、成長可能性の高い現地企業と東南アジア各国への進出意欲のある日本企業双方に、様々な付加価値を提供していけるものと考えております。

以上